

学校教育目標 「自分で考え、正しく判断し、最後までやり抜く生徒を目指す」
①求めて学ぶ生徒 ②心を高める生徒 ③たくましい生徒



小値賀物語 第18話



令和3年1月28日発行

小値賀町立小値賀中学校 校長 池田英二

1月も下旬になり、厳しい寒さが続いています。皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。どうぞご自愛ください。小値賀物語第18話では、オンラインで行われた食育講話と小中合同ロードレース大会の様、12月に回答にご協力いただきました学校評価アンケートの「結果」「成果と課題」「評価を受けての今後の取組」についてお知らせいたします。また、アンケートでは、貴重なご意見もありがとうございました。今後の学校経営に生かしていきたいと思っております。

食育講話（1月25日月曜日）

中学生を対象に、栄養教諭の近藤けい子先生による食育講話（授業）が6校時に、中学生を対象に実施されました。新型コロナウイルス感染症の予防のために、密にならないように、1・2年生は各教室で、3年生はパソコン室で、オンラインによる講話が行われました。各生徒は、ZOOMとロイロノートを使った講話を聴きながら、タブレットを使って質問に答えていました。講話の内容は、日頃見ることができない給食室の中や給食調理員さんたちの様子をパワーポイントを使って紹介しながら、興味深い質問が3つありました。



Q1：「調理員さん4人は白衣に着替えた後に何をやるの？」
Q2：「回転釜には、500mlペットボトルの水は何本分入る？」
Q3：「大きなしゃもじ（スパテラ）で大量の食材を混ぜるときのしくみとは？」です。

（答えは、お子さんに尋ねてください。）

そのあとで、朝食の大切さについて触れた後に、「朝食を食べられるようになるにはどうしたらいいの？」という質問を全校生徒で考えました。生徒たちは、給食と朝食についてしっかりと学ぶことができ、教職員は、オンライン授業の形態についても学ぶことができたいへん有意義な授業になりました。近藤先生、ありがとうございました。



小中合同ロードレース大会（1月27日水曜日）



これまで、小学1年生から中学3年生までの9学年が12の班に分かれて、練習を行ってきた小中合同ロードレース大会が実施されました。当日は、朝から小学校体育館で当日集会を行い班ごとに各班員の大会への意気込みを確認しました。天気にも恵まれて、晴天の中でロードレース大会が実施できて本当に良かったです。本番は、中学生女子→同男子→小学1・2年生→同3・4年生→同5・6年生の順でスタートして、全校児童生徒の力走が見られました。閉会式の表彰の後で、全員が自分の記録の書かれたメダルを手にして嬉しそうな笑顔が見られました。

※地域の皆様方におかれましては、大会運営に、ご協力いただき大変ありがとうございました。

お仕事中に、交通の妨げになり、ご迷惑をおかけしてたいへん申し訳ありませんでした。